

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】令和 3 年 11 月 25 日 (2021.11.25)

【公表番号】特表 2016-530017 (P2016-530017A)

【公表日】平成 28 年 9 月 29 日 (2016.9.29)

【年通号数】公開・登録公報 2016-057

【出願番号】特願 2016-539552 (P2016-539552)

【国際特許分類】

A 6 1 N 2/04 (2006.01)

A 6 1 N 1/36 (2006.01)

A 6 1 N 1/05 (2006.01)

A 6 1 B 5/377 (2021.01)

【F I】

A 6 1 N 2/04

A 6 1 N 1/36

A 6 1 N 1/05

A 6 1 B 5/04 3 2 0 N

【誤訳訂正書】

【提出日】令和 3 年 10 月 14 日 (2021.10.14)

【誤訳訂正 1】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】全文

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

非侵襲的な電気的および / または磁気的な神経刺激のためのシステムであって、該システムは、

- ・ 人工ノイズを含む、交流の刺激信号を発生させるための信号発生器、
- ・ 該刺激信号を視神経上の領域または視神経のすぐ近くの領域に適用するための適用デバイス、
- ・ 測定信号を導出するための導出ライン、
- ・ 該測定信号に基づいてバイオマーカーを計算するためのバイオマーカー計算ユニット、
- ・ 該刺激信号の変更によって該バイオマーカーの値を最適化するための確率的最適化法を実行するための、ユニットを含むシステム。

【請求項 2】

前記刺激信号が、プログラム可能な関数発生器によって発生されることを特徴とする、前述の請求項の 1 項に記載のシステム。

【請求項 3】

前記バイオマーカーの 関数従属性が、トレーニングデータから の機械学習によって測定されることを特徴とする、前述の請求項の 1 項に記載のシステム。

【請求項 4】

前記刺激信号が、人工ノイズ、交流信号、および直流信号を有することを特徴とする、前述の請求項の 1 項に記載のシステム。

【誤訳訂正 2】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 0 4 2

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0042】

本発明のさらなる実施形態において、バイオマーカーの関数従属性は、トレーニングデータからの機械学習によって測定され、特に、バイオマーカーは、測定信号の振幅、周波数、位相および／もしくは位置情報の項目の関数またはそれらの機能イメージであることが提供される。重み付けパラメータもまた、トレーニングデータからの機械学習によって測定され得る。そのような学習方法の1つの実施形態は、バイオマーカーを測定するための測定データが、特定の基準に基づいてセグメント化されるというものである。これは、治療の試みを評価するために、経時的な基準（例えば、治療の試みの前後の時点）と定性的な基準の両方に基づいて（したがって、例えば、定量化できる特徴、例えば、視野のサイズ、視力、色および視野の輪郭に基づいて）行われ得る。測定信号の特徴的な特徴の傾向および相関関係は、セグメント内で確かめられ得る。見出された特徴の有意性および分散が、例えば、特徴パラメータを重み付けするために、使用され得る。

【誤訳訂正3】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0059

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0059】

本発明のさらなる実施形態において、測定信号に対するバイオマーカーの関数従属性は、試験被験体からのトレーニングデータを使用して機械学習によって、特に、データベースによってさらに支援されるサポートベクターマシンを用いた教師付きクラスタリングによって測定されることが提供される。ゆえに、その方法は、全患者および新たに加えられた各患者のデータプールから「学習」できる。